

## 木材産業の現状と将来展望 ～ 荷役/家具/土木 ～

木材産業の動向を検討する際、建築やバイオマス分野が注目されがちですが、荷役、家具、土木における木材利用も重要な分野です。

荷役において重要なパレットは、物流の効率化に欠かせません。現在、国内で約 5600 万枚が生産されていますが、そのうち木製パレットは約 3100 万枚、出荷額は約 790 億円であり、木材産業の一分野として存在感があります。講師の宿谷さんは、日本通運で長年に渡り物流業務に携わった後、日本物流団体連合会の事務局長を務められた、ロジスティックスの専門家です。

木製家具の分野は、ミラノ・サローネなどの海外の展示会に積極的に出展し、デザイン性に優れた家具や調度品を国内外の大規模な事業所やホテルに納入するマーケティング戦略を取るメーカーが増えてきました。講師の加藤さんは、業界大手の家具メーカー副社長として、国内に3つの資材工場を持ち、全国から多彩な樹種の木材を調達し家具づくりに活用する企業経営に取り組まれています。

土木の分野は、潜在的な木材需要量が約 400 万<sup>m</sup>³/年(丸太換算)と推計されています。既に、丸太打設による軟弱地盤対策、木橋、橋梁床板、法面工事等の分野で木材が用いられていますが、今後、その利用拡大が期待されています。講師の原さんは、建設コンサルタント会社を経て大学研究者となり、土木分野における社会実装を視野に入れた研究活動に取り組まれています。

10～12 月の月例研究会では、これら建築以外の木材利用の最近の動向を学ぶため、本シリーズを企画しました。多くの皆さまの参加をお待ちしております。



宿谷 肇 氏



加藤 洋 氏



原 忠 氏

10 月	第 137 回	日 時：2024 年 10 月 10 日（木）17:30～（配信開始 17:15）
		演 題：木製パレットと木材物流の現状と展望
		講 師：宿谷 肇 氏（日本パレット協会専務理事）
11 月	第 138 回	日 時：2024 年 11 月 14 日（木）17:30～（配信開始 17:15）
		演 題：デザインとものづくりを通じた国産広葉樹の付加価値化
		講 師：加藤 洋 氏（カリモク家具株式会社副社長）
12 月	第 139 回	日 時：2024 年 12 月 12 日（木）17:30～（配信開始 17:15）
		演 題：木材の土木利用の歴史と新技術 ～ 地中利用を例に ～
		講 師：原 忠 氏（高知大学教授）

□会 場： ZOOM ミーティング

□参 加 費： 会員：無料、非会員：3,000 円/各回

□申込期限： 10 月：2024 年 10 月 7 日（月）

11 月：2024 年 11 月 11 日（月）

12 月：2024 年 12 月 9 日（月）

□申込方法： 研究会ホームページ（<https://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。

□備 考： ※最新情報はホームページを御確認ください。

※ZOOM ミーティングの登録方法は、お申込み頂いた方に、各回前日に連絡する予定です。



研究会 Web サイト

木材利用システム研究会事務局（長坂、知念）

113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7 号館 B 棟 438 東京大学木材利用システム学研究室内

電話：03-5841-7506 メール：info@woodforum.jp